

# JIS

## ソフトウェア測定－機能規模測定－ 第2部：ソフトウェア規模測定手法の JIS X 0135-1:1999 への適合性評価

JIS X 0135-2 : 2004  
(ISO/IEC 14143-2 : 2002)

平成 16 年 6 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 情報技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	石 崎 俊	慶應義塾大学
(委員)	浅 野 正一郎	国立情報学研究所
	伊 藤 文 一	財団法人日本消費者協会
	岩 下 直 行	日本銀行
	岩 田 秀 行	日本電信電話株式会社
	大久保 彰 徳	社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
	笥 捷 彦	早稲田大学
	金 谷 学	総務省
	後 藤 志津雄	株式会社日立製作所
	小 町 祐 史	パナソニックコミュニケーションズ株式会社
	関 口 裕	社団法人電子情報技術産業協会
	関 根 千 佳	株式会社ユーディット
	高 森 國 臣	総務省
	成 田 博 和	富士通株式会社
	平 野 芳 行	日本電気株式会社
	伏 見 諭	社団法人情報サービス産業協会
	藤 村 是 明	独立行政法人産業技術総合研究所
	宮 川 秀 眞	財団法人日本情報処理開発協会
	宮 澤 彰	国立情報学研究所
	山 本 泰	日本アイ・ピー・エム株式会社
	山 本 喜 一	慶應義塾大学
	若 井 博 雄	財団法人日本規格協会
	渡 辺 裕	早稲田大学

---

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 16.6.20

官 報 公 示：平成 16.6.21

原案作成協力者：財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4 丁目 1-24 TEL 03-5770-1573)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：情報技術専門委員会 (委員長 石崎 俊)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成協力者又は経済産業省産業技術環境局 標準課情報電気標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1 E-mail:qqgcbd@meti.go.jp 又は FAX 03-3580-8625) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

制定に当たっては、日本工業規格と国際規格との対比、国際規格に一致した日本工業規格の作成及び日本工業規格を基礎にした国際規格原案の提案を容易にするために、**ISO/IEC 14143-2:2002**, Information technology—Software measurement—Functional size measurement—Part 2:Conformity evaluation of software size measurement methods to **ISO/IEC 14143-1:1998** を基礎として用いた。

**JIS X 0135-2** には、次に示す附属書がある。

附属書 A (参考) 評価員の能力

附属書 B (参考) 適合性評価チェックリストの例

附属書 C (参考) 適合性評価報告書の例

**JIS X 0135** の規格群には、次に示す部編成がある。

**JIS X 0135-1** ソフトウェア測定—機能規模測定—第 1 部: 概念の定義

**JIS X 0135-2** ソフトウェア測定—機能規模測定—第 2 部: ソフトウェア規模測定手法の **JIS X 0135-1:1999** への適合性評価

## 目 次

	ページ
序文.....	1
1. 適用範囲.....	1
2. 引用規格.....	2
3. 定義.....	3
4. 適合性評価.....	3
4.1 概要.....	3
4.2 評価員の特性.....	4
4.2.1 評価員の組織.....	4
4.2.2 適合性評価チーム.....	4
4.3 適合性評価への入力.....	5
4.3.1 入力リスト.....	5
4.3.2 FSM 手法候補の文書.....	5
4.3.3 適合性評価計画.....	5
4.3.4 適合性評価手順.....	6
4.3.5 適合性評価チェックリスト.....	6
4.4 適合性評価手順の作業手順.....	7
4.4.1 指針.....	7
4.4.2 適合性評価手順の作業手順.....	7
4.5 適合性評価の成果物.....	10
4.6 適合性評価結果の宣言.....	10
附属書 A (参考) 評価員の能力.....	11
附属書 B (参考) 適合性評価チェックリストの例.....	13
附属書 C (参考) 適合性評価報告書の例.....	22
解 説.....	25

# ソフトウェア測定－機能規模測定－

## 第 2 部：ソフトウェア規模測定手法の

### JIS X 0135-1:1999 への適合性評価

Information technology—Software measurement—Functional size measurement—Part 2:Conformity evaluation of software size measurement methods to JIS X 0135-1:1999

**序文** この規格は、2002 年に第 1 版として発行された ISO/IEC 14143-2:2002, Information technology—Software measurement—Functional size measurement—Part 2:Conformity evaluation of software size measurement methods to ISO/IEC 14143-1:1998 を翻訳し、技術的内容及び規格票の様式を変更することなく作成した日本工業規格である。

#### 1. 適用範囲

1.1 この規格は、次を行う。

- a) JIS X 0135-1 の各規定内容に対して、機能規模測定（以下、FSM という。）手法候補の適合性評価の枠組みを確立する。
- b) FSM 手法候補が JIS X 0135-1 の要求事項を満足するかを判断するための適合性評価プロセスを規定する。
- c) 適合性評価プロセスの再現性並びに適合性判定及び最終結果の一貫性を保証するために、適合性評価を実行するための要求事項を規定する。
- d) 適合性評価プロセスの成果物が、客観的であり、公平であり、一貫性があり、再現性があり、完全であり及び監査可能であることを保証することを目的とする。
- e) 適合性評価チームの適格性を決定するための参考指針(附属書 A 参照)を提供する。
- f) FSM 手法候補の適合性評価を支援するためのチェックリストの例(附属書 B 参照)を提供する。
- g) 適合性評価報告書の記載例(附属書 C 参照)を提供する。

適合性評価は、この規格に記述されている適格性をもった適合性評価チームによって実施される。この規格は、JIS X 0135-1 に規定されている概念及び定義について熟知していることを前提としている。

適合性評価では、FSM 手法候補の各構成要素を JIS X 0135-1 の規定内容に対応付けた後、各構成要素の適合性をそれぞれ評価する。

適合性評価の成果物には、評価された各規定内容に対する判定結果が含まれる。FSM 手法候補が JIS X 0135-1 に適合しているかを決定する場合には、要求事項（“…しなければならない”などで記述している規定内容）だけが考慮される。FSM 手法候補の利用者に追加情報を提供するために、JIS X 0135-1 の推奨事項（“…することが望ましい”などで記述している規定内容）も併せて調査してもよい。